

平成30年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4036

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B62	種苗センター管理運営事業		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	種苗センター費		
事業期間	平成6年度～	根拠法令	埼玉県種苗センター条例第1条、種苗法第6条、第45条			宣言項目	09	儲かる農業の推進	
					分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業概要 優良種苗の供給等を通じて、農業生産の安定と産地の育成を図り、都市近郊農業としての本県農業の優位性を確保するため、埼玉県種苗センターの的確かつ効果的な運営を図る。 (1) 種苗センター管理運営事業 (2) 登録品種管理事業 (3) 施設改修費			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 種苗センター管理運営事業 種苗センターの管理・運営を指定管理者（(公社)埼玉県農林公社）へ業務委託する（平成26年度～平成30年度）。 イ 登録品種管理事業 種苗法に基づく品種登録を行うとともに、補償金を育成者に支払う。 ウ 施設改修費 老朽化した種苗運搬用トラック、蒸気土壌消毒機、発芽器の更新を行う。 (2) 事業計画 ア 主要農作物の原種の生産・供給 種苗法に基づき品質を確保された水稻、麦類、大豆の原種及び飼料用稲の種子を生産・供給する。 イ 園芸作物の優良種苗の生産・供給 いちご、りんどう、わけねぎのウイルスフリー苗を専用室で生産するとともに、県育成の彩玉の苗を生産・供給する。 ウ 園芸作物等の苗の受託育成 生産者の要望を受け、野菜・花きの成型苗、きゅうり等の接ぎ木苗、ポット苗、水稻箱苗を受託育成する。 (3) 事業効果 優良品種の供給を通じて、農業生産の安定と産地の育成が図られ、都市近郊農業としての本県農業の優位性が確保できる。 成果目標 米、麦、大豆の県需要量の確保 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 なし						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分) 農業行政費（細目）農業振興費 (細節) 生産流通振興費 (積算内容) 主要農作物の原種ほの設置に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		使用料・手数料	財産収入	諸収入					
決定額	111,531	51	18,258	41				93,181	△482
前年額	112,013	56	24,508	41				87,408	